

第7回蒲田都市づくり推進会議における主な指摘事項

分類		指摘事項要旨	指摘事項への対応
東口駅前広場	歩道の形状	<ul style="list-style-type: none"> 東口駅前広場の横断歩道の位置のズレについて、バスの配置により制約があるのはわかるが、上手く配置をしても横断歩道のズレはでしてしまうのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 再調整し、現段階の駅前広場形状では、横断歩道のズレについては解消したが、現在、関係機関等と協議中の調整事項の結果等を踏まえて最終的な形状を決めていく。
	荷捌き動線の変更	<ul style="list-style-type: none"> 荷捌き車両について、駅街路 2 号線の交差点の形状から、トラックの車両制限等の工夫をする必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 荷捌き動線の変更については、駅街路 2 号線搬入車両流出入部の横断歩道解消による歩行者通行を改善するためのひとつの考え方を示したものである。 区役所前面道路を搬入車両が通行する案であり、安全で円滑な動線の確保について、歩行者・車両状況や搬入車の車両制限も含めて検討を深める。中長期的には、駅前広場全体の最終形を検討していく中で調整する。
		<ul style="list-style-type: none"> 駅ビルへの荷捌き動線については、JR と荷捌きの運用を含めてよく議論をし、どれを最終的な案にするのか検討してほしい。 	
	回遊路	<ul style="list-style-type: none"> 東口の回遊路については、区役所は、人が集まる施設として大きな役割を果たしている。市街地側との繋がりについて、どこを中心に考えていくのかを含めて検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 東口の回遊路については、京急蒲田駅方面も考慮して検討する必要がある。ぽぷらード・あすと商店街を軸に、中央通り、一番街、アロマ方向、さかさ川通り、呑川緑道への広がりを想定している。中・長期での新空港線整備や区役所の建替えの際も回遊性を考慮して検討を行う必要がある。
タクシー待機場	<ul style="list-style-type: none"> タクシーが待機出来る台数が少ないため、駅街路 2 号線に待機列が伸びるのではないか。入りきらないタクシーについてもう少し検討が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 広場内の待機場は、利用者数等から求められる必要台数が待機できるよう計画しているが、実際にはそれ以上のタクシーが集中し、周辺道路に並ぶことが想定される。整備計画では駅街路 2 号線に自転車走行レーンが設置される予定であり、区有地の活用やその他の解決案を検討する。 	
地下自転車駐車場	地下自転車駐車場の形状	<ul style="list-style-type: none"> 地下自転車駐車場の形状については、公共用地と JR 用地活用の両方の折衷案のような形状も考えられるので、工事、施工含めて柔軟に考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共用地と同面積の案を一例として示したが、将来需要や利用者の使いやすさを考慮した設備など、JR 用地活用の範囲について JR の協力を得ながら検討を深める。
	北側出入口	<ul style="list-style-type: none"> 地下自転車駐車場の北側の出入口の位置について、歩行者動線や車の動線と交錯するのではないか。自転車の出入の方法等、細かい部分まで考えて設計をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場歩道からの出入りは歩行者との交錯が発生するので、道路側から出入りできるよう変更する。
その他	自動車駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 駅近辺に大型の駐車場ができるとよい。昔は駅前の地下に駐車場を作る案が何回も浮上したが、一回も実現していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクトは、自動車利用から公共交通や自転車利用への転換促進という視点も含めた計画となっているため、駐車場整備については触れていない。ただし、環境に優しい自動車が増加傾向にあり、こうした状況や将来的な需要も踏まえ対応する必要があると認識している。